

ウルタビューティ 2017年度決算

2ケタの増収増益
減税効果で純利益は3割以上の
伸び、従業員に臨時賞与



全米最大の化粧品専門
店チェーンで全ての店舗
に美容サロンを併設する
「ウルタビューティ」の
2017年度決算(2月
3日締)は、積極的な出
店と既存店が2ケタの伸
びと好調だったことなど
で2ケタの増収増益とな
った。トランプ減税効果
により純利益は3割を超
える大幅増となり、従業
員に臨時ボーナスを支給
した。

売上高は21・2%増の
58億8450万ドル、営
業利益は19・9%増の7
億8529万ドル、純利
益は35・5%増の5億5
523万ドルとなった。
なお税率は前年度の37・
5%から29・4%と軽減
され、純利益を大幅に引
き上げた。

荒利益率は0・4P減
たが、経費率は0・2P
減の22・3%と改良して
いる。この結果、営業利
益率は0・2P減の13・
3%となっている。

既存店は11・0%増と
好調で、客数は6・7%
増、客単価は4・3%増
とバランスよく伸びてい
る。新設は102店、リ
ロケートは7店、リモデ
ルは11店で期末店舗数を
1074店としている。

マリリーディロン(M
ary Dillon)
CEOは、「既存店が2
ケタの伸びを続けてお
り、最大のカテゴリーで
あるメイクアップを中心
にマーケットシェアを広
げている」と語る。

2018年度の業績見
通しは、売上高で2ケタ
台の前年、既存店で6

アジア美容
リアルレポート

第50回

春からニーズの高まる商品は？



●沖野 真紀(おきの まき)

アジア女性専門調査会社 ㈱ブルームス代表。
定性調査に特化したインサイトマーケティングを得意とし
る。また、日本とアジアのメディアで美容通としても
活躍中。その知見と現地調査でアジア女性の美容ニース
の分析に努めている。
㈱ブルームスホームページ <http://blooms.jp/net/>

やっと暖かくなって
きました。3月末には
東京でも桜が満開にな
りましたが、お花見に
出かけた方も多かった
のではないでしょう
か？

春が来ると気になる
のは紫外線です。4月
から5月にかけて紫外
線量が急に強くなるこ
とは、雑誌やメディア
で啓蒙活動がされてい
るので、日本の女性の

間ではかなり浸透して
いると思います。日本
ほどではありませんが、
中国の女性達の間でも
気にする人が増えてき
ました。当社でも、3

月月中旬ぐらいから中国
人顧客にUVクリーム
が売れ始めました。こ
れから9月中旬ぐらい
まで売れ続けると予測
しています。

また、もう一つの
季節から急激に女性の
関心度が上がるのは、
痩身とダイエットです。
冬の間は、分厚い
洋服を重ね着し、足元
はタイツにブーツで隠
せていたのが急に薄着
になるわけです。脚の
むくみも放置しておく
わけにはいきません。
こちらでも同じく3月中
旬からマッサージュリ
ームやダイエットサプ
リメントの販売が伸び



ています。中国の話
になりますが、2年ぐ
らい前まではデトック
ス系のサプリが人気で
したが、効きすぎてお
腹が痛くなる人がいた
ため「体に悪い」とい
う噂が広まり、最近ほ
う焼系にシフトしてい
きました。しかし焼系
は、デトックス系に比
べると効果がすぐに分
かりにくいということ
もあり「運動しないと
痩せないのですか？」
という質問をよく受け
ます。もちろん効果は
人それぞれですが、
この質問に答えること
はできません。代わり
に「摂取エネルギーよ
りも消費エネルギーが
増えるよう、食事を減
らして運動量を増や
すことも心がけて下さ
いね」とアドバイスを
するのですが、とても
がっかりされてしま
います。やはり頭では分
かっていても、飲むだ
けで痩せる夢のような
ものを期待してしまう
ようです。

ファッションほど
はありませんが、化粧
品も季節性の強い商材
だと思えます。季節に
合わせた年間販促計画
をもとに美しさを願う
女性のニーズにシッ
カり応えていきたいと思
います。

8%増、eコマース売上
で40%増を見込んでい
る。新設は100店、リ
モデルないしリロケーシ
ョンは17店を計画してい
る。

利益面では、荒利益率
が向上したことや前年度
の巨額減損損失がなくな
ったことで営業黒字に転
換した。税前利益は、支
払利息が巨額なため赤字
となっていたが、赤字幅
は縮小している。純利益
は、トランプ減税の効果

が堅調に推移したこと
で増収となった。

利益面では、荒利益率
が向上したことや前年度
の巨額減損損失がなくな
ったことで営業黒字に転
換した。税前利益は、支
払利息が巨額なため赤字
となっていたが、赤字幅
は縮小している。純利益
は、トランプ減税の効果
が堅調に推移したこと
で増収となった。

利益面では、荒利益率
が向上したことや前年度
の巨額減損損失がなくな
ったことで営業黒字に転
換した。税前利益は、支
払利息が巨額なため赤字
となっていたが、赤字幅
は縮小している。純利益
は、トランプ減税の効果
が堅調に推移したこと
で増収となった。

ニーマンマーカス

アメリカの高級
百貨店「ニーマン
マーカス」の20
17/2018年
第2四半期決算(1月27
日締、累計)は、既存店
が堅調に推移したこと
で増収となった。

利益面では、荒利益率
が向上したことや前年度
の巨額減損損失がなくな
ったことで営業黒字に転
換した。税前利益は、支
払利息が巨額なため赤字
となっていたが、赤字幅
は縮小している。純利益
は、トランプ減税の効果
が堅調に推移したこと
で増収となった。

第2四半期決算、営業黒字に転換

トランプ減税効果で
純利益も黒字に

前年度の赤字から黒字
に転換した。

売上高は5・2%増の
26億0241万ドル、営
業利益は0・9P増
の32・9%と向上した
が、経費率は0・1P増
となった。

荒利益率は0・9P増
の32・9%と向上した
が、経費率は0・1P増
となった。

荒利益率は0・9P増
の32・9%と向上した
が、経費率は0・1P増
となった。

ポーラ・オルビス

ポーラ・オルビ
スホールディング
スは、社員一人ひ
ついで美意識や感
受性を磨く活動の
一環として、京都
を舞台に日本人が
これまでの歴史の
中で培ってきた「美」を
織物を通して美を追求し
てきた京都西陣織の老

グループ横断プログラム「美を紡ぐ」を開始

「美を紡ぐ」の細尾真孝常
務を外部技術顧問に迎え
た。今後、「テクニチャー」
「空気感」「心」などをテ
ーマに、2〜3カ月に1
度のペースでプログラム
を実施していく。

グループ各社から応募
制にて、さまざまな視点
を持ったメンバーの参加
を募る。テーマに応じて
伝統工芸や日本食などが
持つ「美」を感じると
もに、それらの担い手と
の対話を通じて「美」に
関する思想を「蒐集(し
ゅうしゅう)」する。

また、参加者一人ひと
りの感じ方を互いに共有
し、ディスカッションす
ること、互いの感受性
を高め、より気づきの質
を高めていく。